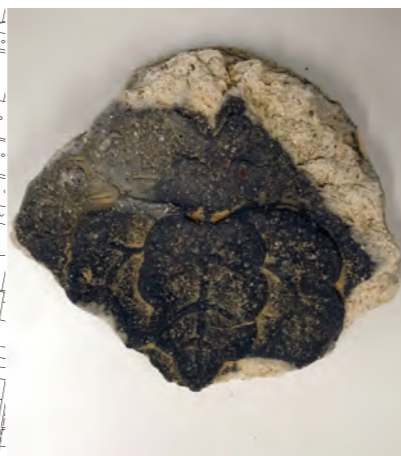


後期清須城本丸周辺の想定復元図と23C区的位置関係（鈴木正貴2012）



軒丸瓦 桐紋 (005SX 出土)



軒平瓦 桐紋 (005SX 出土)



軒丸瓦 三巴紋 (022SK 出土)



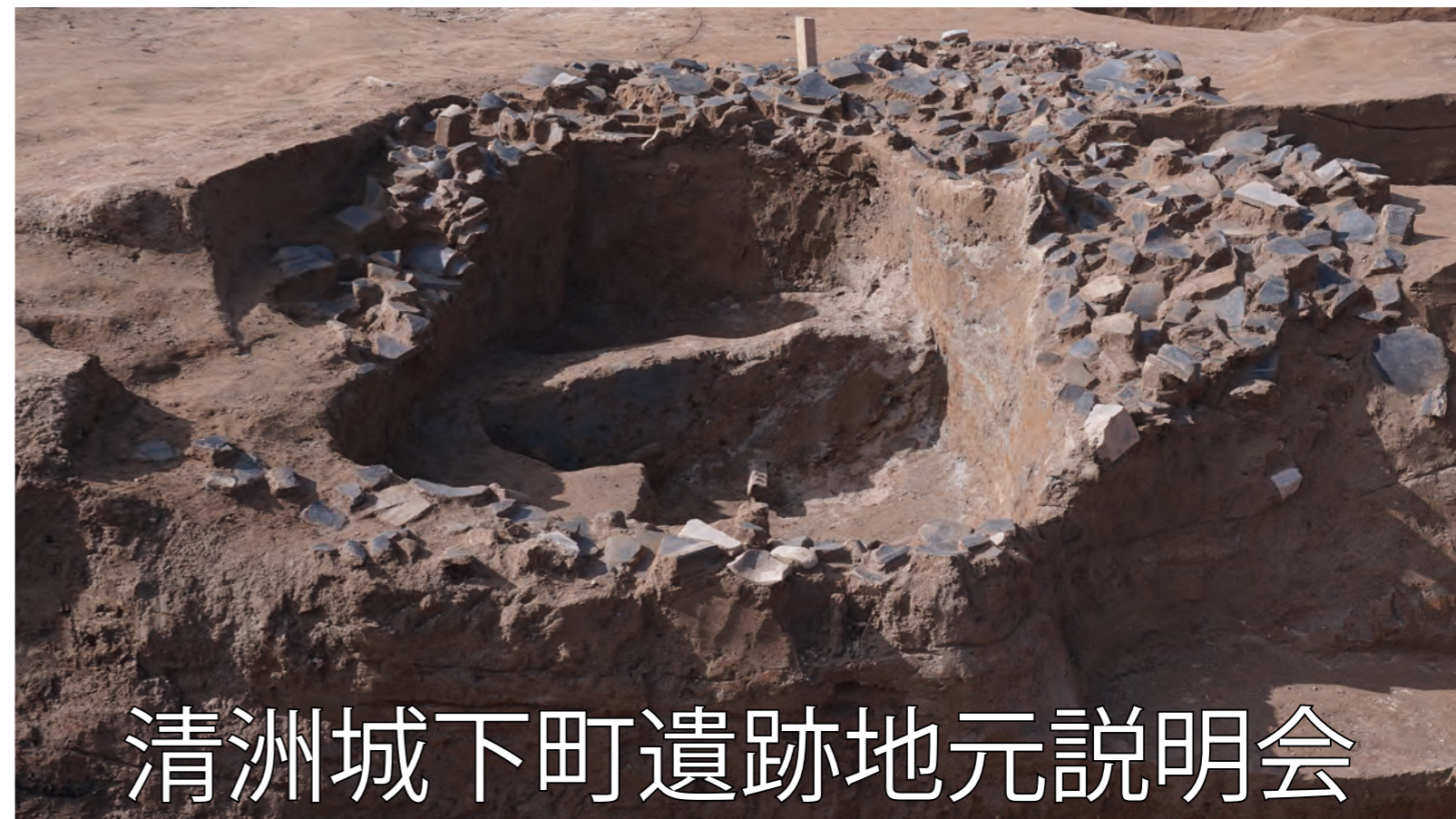
軒平瓦 桐紋 (020SW 出土)



軒平瓦 桐紋 (007SX 出土)

今回の調査成果

今回の調査区(23C区)は、「後期清須城」(1586年～1610年)の北端付近に位置します。今回の発掘調査では、00B区から伸びる石垣(020SW)とその上層で大量の瓦を含む瓦だまり(005SX)が検出されました。このことは、この場所に瓦葺きの建物とその石垣があったと想定される証拠になります。そして、この場所が本丸に次いで重要な中枢部であることが分かりました。また、下層の石垣に伴う瓦と上層の瓦だまりなどから出土する瓦には、若干異なる部分があることが分かりました。この違いは、時期差(後期清須城は城主が織田信雄、豊臣秀次、福島正則、松平忠吉、徳川義直と入れ替わる)を表している可能性があり、今後、出土した瓦の検討に期待されます。



清洲城下町遺跡地元説明会

令和6年4月13日(土)



令和6年度 清洲城下町遺跡(清洲橋)地元説明会資料

編集
配布



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
HP <http://www.maibun.com>

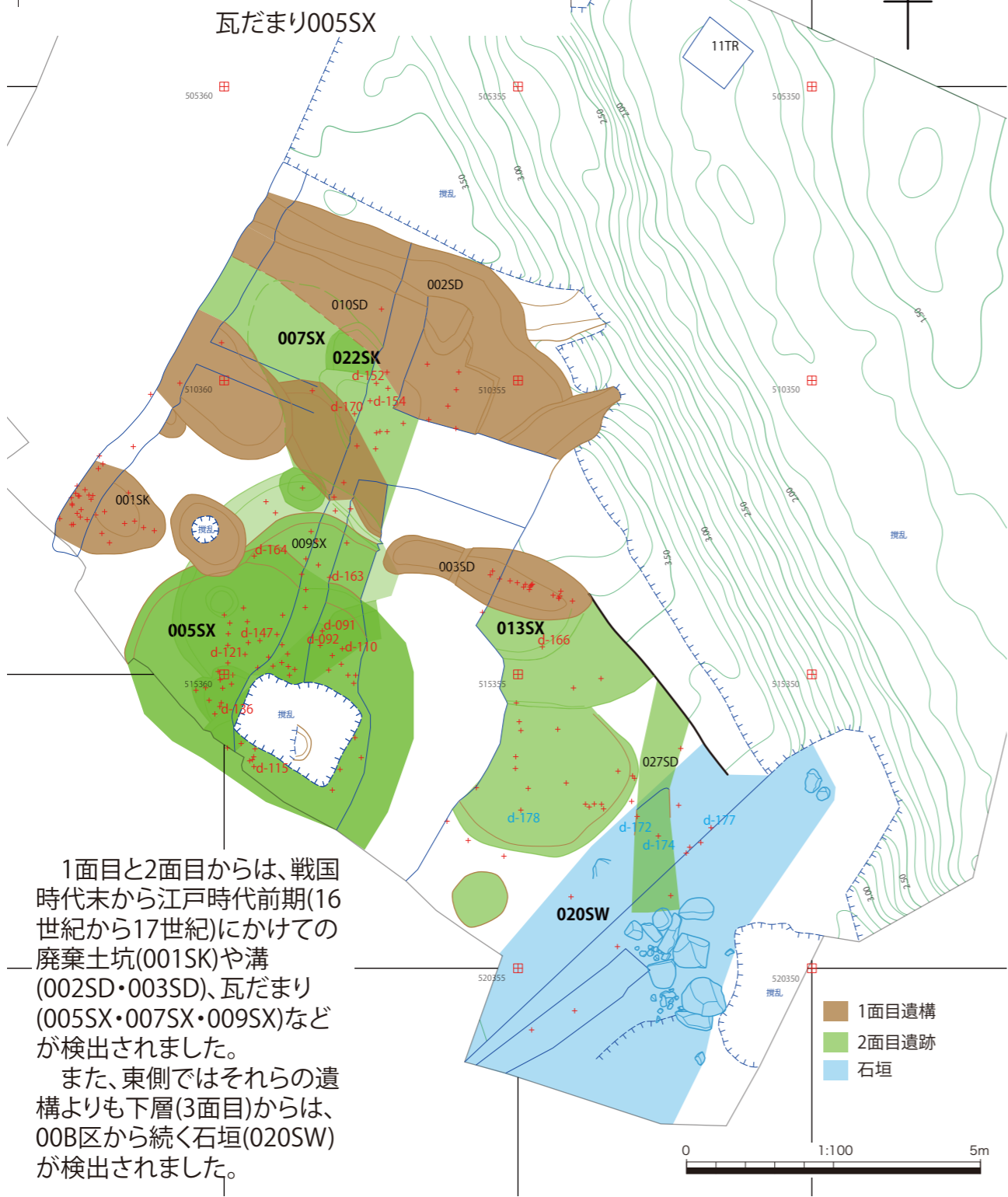
〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24
電話 (0567) 67-4163【調査課】
Twitter https://twitter.com/aichi_maibun
Facebook <https://www.facebook.com/maibunaichi>

調査支援



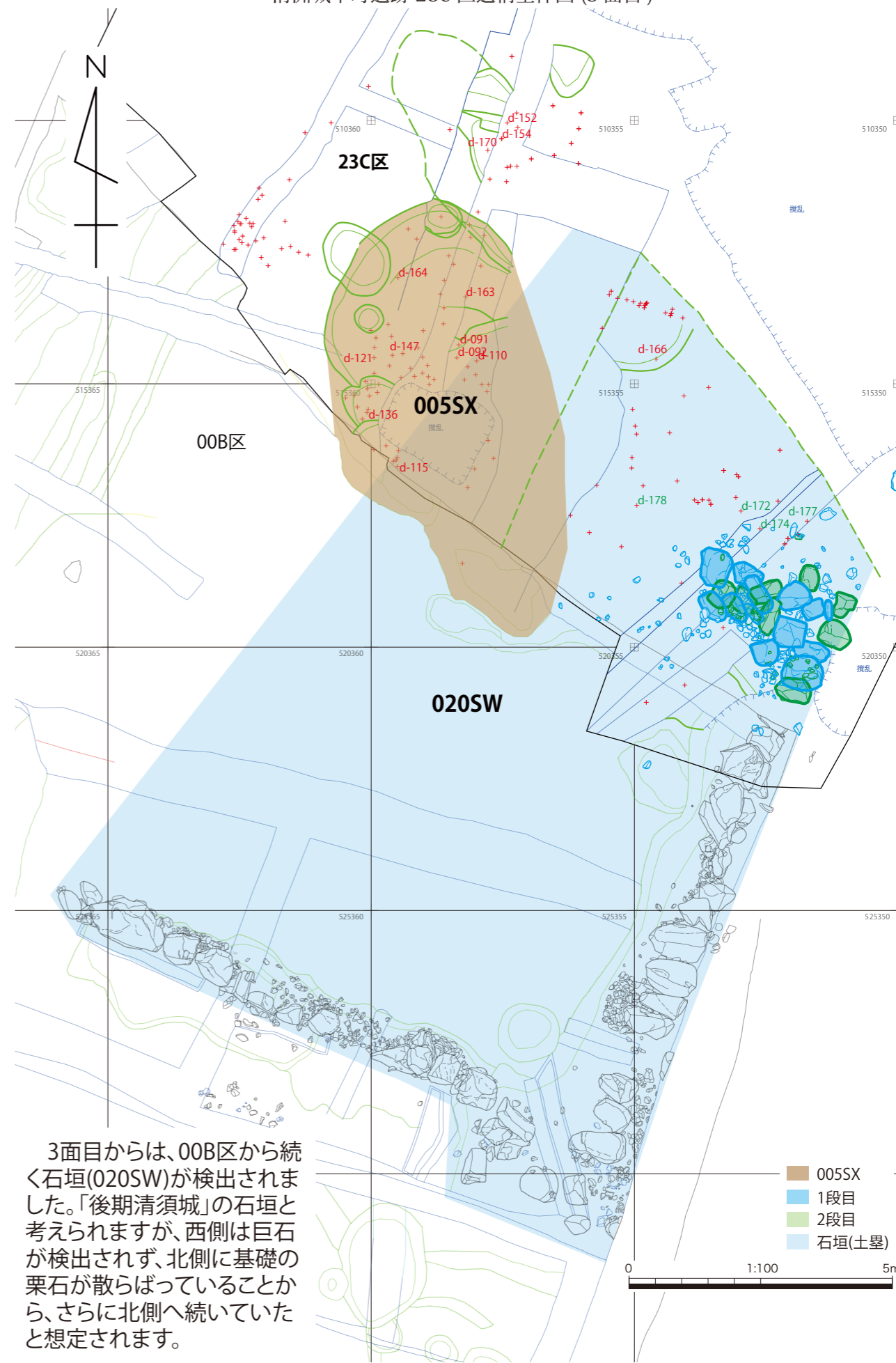
橋本技術株式会社 愛知営業所
〒448-0047 愛知県刈谷市高津波町3 電話 (0566) 28-0880

清洲城下町遺跡 23C 区遺構全体図 (1 面目・2 面目)



1面目と2面目からは、戦国時代末から江戸時代前期(16世紀から17世紀)にかけての廃棄土坑(001SK)や溝(002SD・003SD)、瓦だまり(005SX・007SX・009SX)などが検出されました。
また、東側ではそれらの遺構よりも下層(3面目)からは、00B区から続く石垣(020SW)が検出されました。

清洲城下町遺跡 23C 区遺構全体図 (3 面目)



3面目からは、00B区から続く石垣(020SW)が検出されました。「後期清須城」の石垣と考えられますが、西側は巨石が検出されず、北側に基礎の栗石が散らばっていることから、さらに北側へ続いていたと想定されます。